

2017年11月27日 東京/スイス

## 川崎重工と ABB、 協働ロボット分野における協業に合意

**協働ロボットに焦点を当てた、安全、プログラミングおよび周辺機器とのインターフェース、通信等における産業共通の基本技術の確立に向けた世界初の協業**



世界的なインダストリアル・オートメーションとロボットのサプライヤーである川崎重工業株式会社(以下、川崎重工)と ABB グループ(以下、ABB)の両社は、協働ロボット、特に双腕ロボット分野における知識の共有やロボット活用の促進に関する協業に合意しました。この世界規模の協業は、本日より実施します。

今回の「協働ロボット」に焦点を当てた両社による協業は世界初の取り組みであり、両社が独自に製品の製造やマーケティングを展開しつつ、協働ロボットの技術や普及に向けて力を合わせるものです。これには政策当局や NGO、社会の皆さまに対する協働ロボットによる自動化の利点に関する教育や、安全、プログラミングおよび周辺機器とのインターフェース、通信といった産業共通の基本技術の確立などが含まれます。

多くの産業で、少品種大量生産から少量多品種生産へのシフトが起こり、人とロボット、機械、そしてプロセスにおける協働の重要性が高まっており、これは生産の流動性や人の介在が増すことを意味しています。協働ロボットによる自動化は、人間の知識、洞察力、変化に対する臨機応変な対応と、ロボットの反復作業に対する疲れを知らない耐久力というそれぞれの固有の強みを持ち寄って作業することを可能にします。

また、この協業は、アジアの業界大手である川崎重工、そして、ヨーロッパ最大のロボットのサプライヤーである ABB の、国境を超えた協働を意味します。「今日のロボット産業のスケール、

そして変化のスピードは想像を超えるものです。」と、ABB のロボティクス事業のマネージングディレクター、パーベガード・ニースは述べています。「協働型オートメーションの背後にある技術の向こうには、画期的な新しい協働の方法や安全、プログラミングおよび周辺機器とのインターフェース、通信といった産業共通の基本技術の確立へのニーズも存在しています。」

「協働型双腕ロボットは、二本の腕を持ち、人のように動き、様々な作業をこなすことで、高齢化による労働者不足に直面している社会に貢献しています。より付加価値の高い技術とソリューションにより、人とロボットが安全に協働できる人共存分野におけるロボット需要は高い潜在性を有し拡大していく。」と、川崎重工の常務執行役員ロボットビジネスセンター長、橋本康彦は述べています。「川崎重工とABB が、ユーザーフレンドリーで先進的な協働型オートメーションの促進のために、ともにリーダーシップを発揮することは、大変喜ばしい。」

ABB は、世界初の真の協働型双腕ロボット、YuMi<sup>®</sup>を通じて、協働型オートメーションのパイオニアとして認知されています。同社の YuMi ロボットは、人とロボットの安全な協働を可能にし、小型電子部品の組み立てなどのような、共通の作業を分担することを実現しています。

川崎重工は、同社のアプリケーションにおける知見を結集した、人と安全に共存、協働できるユニークかつ革新的な双腕スカラロボット duAro<sup>®</sup>を販売しています。

この協業の第一弾として、2017 年 11 月 29 日～12 月 2 日に開催される「国際ロボット展 2017」の川崎重工ブース「IR5-22」、ABB ブース「IR3-56」および、“人に優しい社会へ”をテーマとする共有ブース「SR-82」において、両社の双腕ロボットを出展し、デモンストレーションを行います。

## 川崎重工について

川崎重工は、120 年以上の歴史があり、異なる事業部門が連携し技術のシナジー効果を図ることで、革新的な製品を世界の人々に提供し続けています。現在は、世界で約 35,200 人の従業員を擁し、エネルギー・環境等のインフラ、機械およびロボット、船舶・車両・航空宇宙分野での輸送システム、モーターサイクルやパーソナルウォータークラフトといったレジャー製品等、最新技術を駆使した多彩な製品を世の中に送り出しています。 [www.khi.co.jp/](http://www.khi.co.jp/)

川崎重工のロボットビジネスセンターは、広範な製品ポートフォリオを有するロボットおよびロボットオートメーションシステムの主要サプライヤーで、これまでに約 50 か国に 17 万台のロボットを出荷しています。日本市場でのパイオニアであるロボットビジネスセンターは、2017 年に 50 周年を迎えました。世界的ロボットサプライヤーの一社として、産業用ロボットメーカーから、総合ロボットメーカーへの変革を標榜しています。川崎重工は、陸、海、空にわたる多角的な事業や製品により蓄積してきたアプリケーションへの深い知見を有しています。

## ABB について

ABB (ABBN:SIX Swiss EX) は、電力、一般産業、交通/社会基盤においてエレクトリフィケーション・プロダクト、ロボティクス&モーション、インダストリアル・オートメーションおよびパワーグリッドの各分野で、世界中のお客さまに製品・サービスを提供している先駆的技術のリーダーです。125 年以上にわたり、技術革新の歴史を重ね、そして今日、ABB は産業のデジタル化の未来を描き、エネルギーおよび第四次産業革命を推し進めています。ABB は世界 100 か国以上に約 136,000 人の従業員を擁しています。 [www.abb.com](http://www.abb.com)



ABB ロボティクスは、産業用ロボット、協働ロボット、先進的デジタルサービスのパイオニアです。世界の主要ロボットサプライヤーの一社として、世界 53 か国に 100 拠点を擁し、様々な産業およびアプリケーションに 30 万台以上のロボットの納入実績があります。より IoT 化された、協働可能な未来の工場へと向かいながら、お客さまの柔軟性、効率性、安全および信頼性の向上を支援しています。  
[www.abb.com/robotics](http://www.abb.com/robotics)

お問い合わせ先

ABB株式会社

広報・渉外担当

Tel: +03-4523-6151

Mail: [jpabb.communications@jp.abb.com](mailto:jpabb.communications@jp.abb.com)

川崎重工業株式会社

コーポレートコミュニケーション部

Tel: +03-3435-2130

Mail: [webadmin@khi.co.jp](mailto:webadmin@khi.co.jp)